

氏名	鈴木 貴子	部署	作業療法学科	職名	助教
研究分野	身体機能領域作業療法				
学位	修士(リハビリテーション)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科、 2012年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程生涯発達専攻学リハビリテーションコース				
経歴	2009埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科助教				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会、日本作業療法研究学会、日本リハビリテーション連携科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本臨床神経生理学学会、モーターコントロール研究会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	OT評価ポケット手帳	共著	あり	株式会社ヒューマンプレス 全347ページ	濱口豊太・鈴木誠	2019.6.15
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Corticospinal excitability related to reciprocal muscles during the motor preparation period effect of movement repetition	共著	あり	NeuroReport, 30(12), p856-862	Suzuki, Makoto, Suzuki, Takako , Tanaka, Satoshi, Sugawara, Kazuhiro, Hamaguchi, Toyohiro	2019.8.14
3	Changes in magnitude and variability of corticospinal excitability during rewarded time-sensitive behavior.	共著	あり	Frontiers in Behavioral Neuroscience, 13(147), doi: 10.3389/fnbeh.2019.00147	Makoto Suzuki, Takako Suzuki , Yin-Jung Wang, Toyohiro Hamaguchi	2019.7.2
3	Differential effect of visual and proprioceptive stimulation on corticospinal output for reciprocal muscles.	共著	あり	Frontiers in integrative Neuroscience, 13(63), doi: 10.3389/fnint.2019.00062	Takako Suzuki , Makoto Suzuki, Naohiko Kanemura, Toyohiro Hamaguchi	2019.10.29
4	Machine-learning prediction of self-care activity by grip strengths of both hands in poststroke hemiplegia	共著	あり	Medicine, 99(11), http://dx.doi.org/10.1097/ MD.00000000000019512	Makoto Suzuki, Seiichiro Sugimura, Takako Suzuki , Shotaro Sasaki, Naoto Abe, Takahide Tokito, Toyohiro Hamaguchi	2020.03
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	相反筋に投射する皮質脊髄興奮性に対する視覚固有覚刺激の影響	共同		第24回基礎理学療法学会、新潟	○鈴木貴子, 鈴木誠, 金村尚彦, 濱口豊太	2019.11
2	報酬スケジュールが時間知覚と皮質脊髄興奮性に及ぼす影響	共同		第24回基礎理学療法学会、新潟	○鈴木誠, 鈴木貴子 , 磯直樹, 岡部拓大, 趙吉春, 濱口豊太	2019.11
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)			運動イメージと腱振動刺激による運動錯覚の複合感覚上肢機能練習プログラムの開発(研究代表者)	研究代表者	2017-2020.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費基金(挑戦的研究(萌芽))			相反性抑制機能を向上する新しい介入:電磁気刺激とフィードバックの統合効果(研究分担者)	研究分担者	2018-2021.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)			滑らかな行動を獲得する新しい介入戦略:神経活動の同期化と行動学習(研究分担者)	研究分担者	2018-2023.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア論		8	全学部 of 1 年次生を対象とした講義の進行、補助等を行った
2	身体機能作業療法評価学		1.5	主に実技試験の試験官、実技指導等を行った
3	作業療法運動学		1	肩複合体の運動学について講義を行った
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	卒業研究ゼミナール		10	学部生3年次生3名の卒業研究指導を担当した。
2	卒業研究			学部生4年次生2名の卒業研究指導を担当した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	作業療法運動学実習	○	17.5	作業療法士として必要となる運動学の知識を、臨床のエピソードを交えながら解説し、学生が実際に体験して、身体の運動を実感できる機会を増やすよう努めた。
2	身体機能作業療法学実習(基礎)		9	整形外科疾患に関する領域を担当した。作業療法士が行う治療について解説し、paper patientによる治療プログラ立案についてレポートを課し、発表およびグループ討議を行った。
3	ヒューマンケア体験実習		2019.6~2019.10	メイン科目責任者を担当し、科目としての運営に携わった。教員へのオリエンテーション、施設との調整等を行った。
4	身体機能作業療法評価学実習		3	主に実技試験の試験官、実技指導等を行った。
5	臨地実習 I-1		通年	実習の関連業務が円滑に運ぶよう事務作業や調整を行った。施設訪問を行い、学生指導および状況の把握等に努めた。
6	臨地実習 II-1		2019.4~2019.7	施設訪問を行い、施設間との調整、学生指導および状況の把握などに務めた
7	臨地実習 II-2		2019.4~2019.7	施設訪問を行い、施設間との調整、学生指導および状況の把握などに務めた
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4~2019.12	主指導 5名	副指導 名
2			主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 名
3			主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	学年担当	2019.4~2020.3	3年次の学年担当を務めた。定期個別面談と臨時個別面談を行った。学年担当としての障害学生支援を行った。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	日本リハビリテーション連携科学学会第21回大会 実行委員(広報担当)	日本リハビリテーション連携科学学会	リハビリテーション連携における「当事者本位」を考える	2020.3 (中止)
2	越谷市民大学 講師	越谷市	「手の不思議」	2019.8
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	品川区立心身障害者福祉会館 品川区障害者生活支援センター	高次脳機能障害専任相談員		2019.4～2020.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	情報図書委員会 委員		2019.4～2020.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				